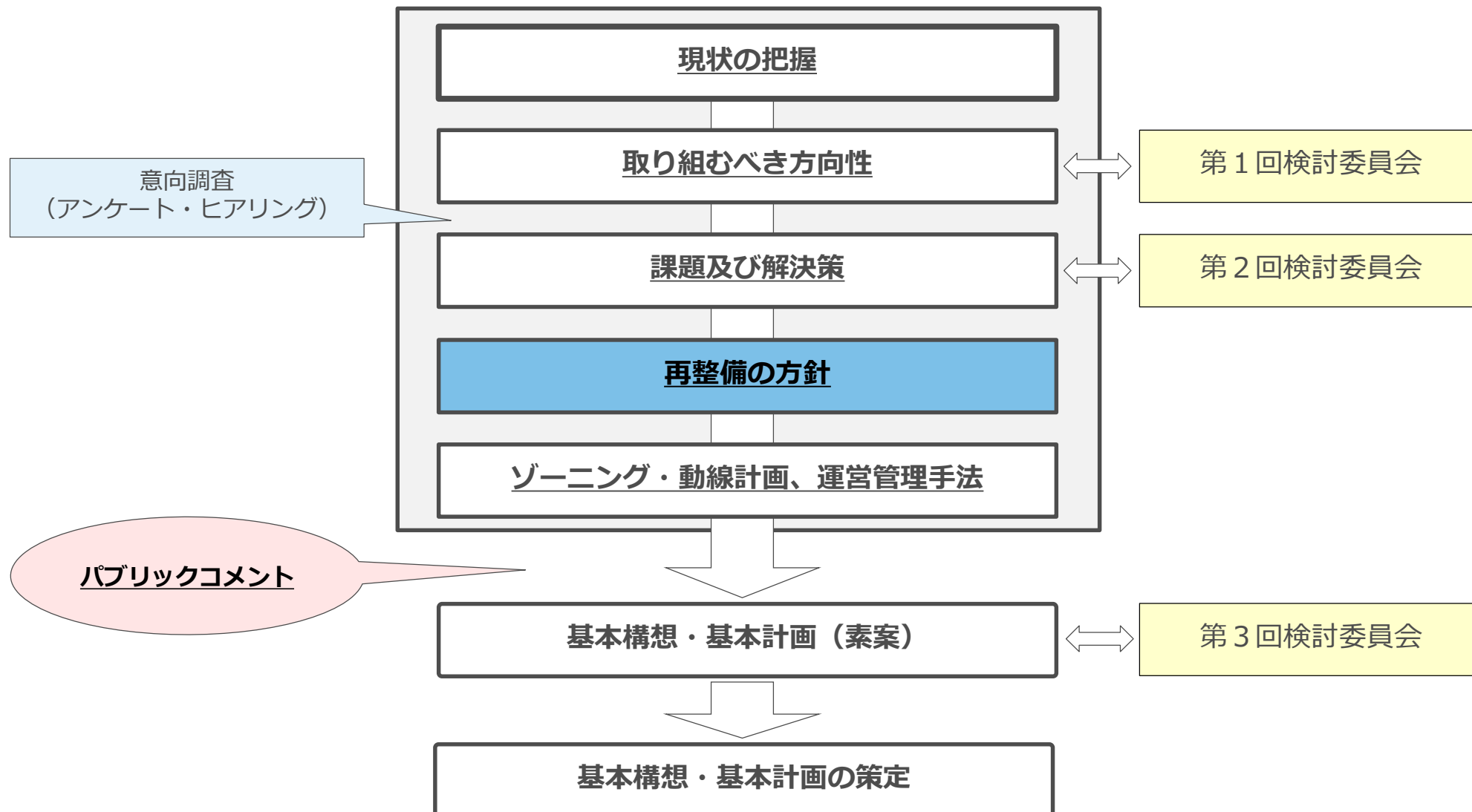
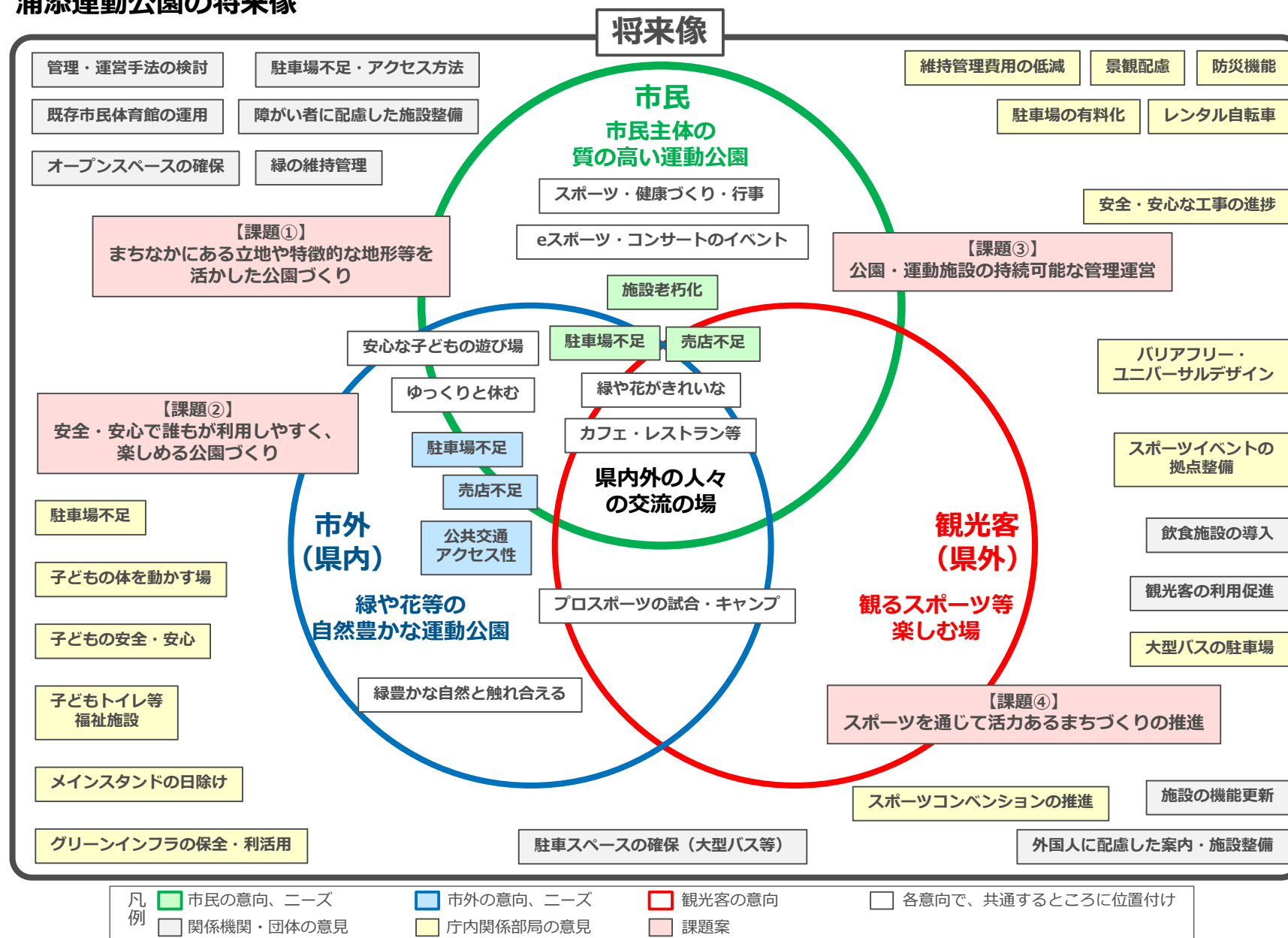


- 再整備に向けての課題及び解決策を踏まえ、浦添運動公園の将来像と再整備の方針を示します。





① 浦添運動公園の将来像

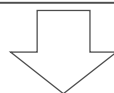


- ・将来像のイメージから再整備で目指す将来像とそれを実現するための再整備の方針を定めます。

②将来像の基本的な考え方

基本的な考え方

- ・ 市民がスポーツや健康づくり、イベントで利用できる運動公園
- ・ 緑や花等の豊かな自然とふれあい、ゆっくり休息できる運動公園
- ・ 子どもや高齢者・障がい者等の誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園
- ・ 質の高いサービスを持続的に提供できる運動公園
- ・ スポーツを通じて県内外の人々が交流し活力ある運動公園
- ・ 本市の新たなスポーツ・観光交流の拠点の形成



③将来像と再整備の方針

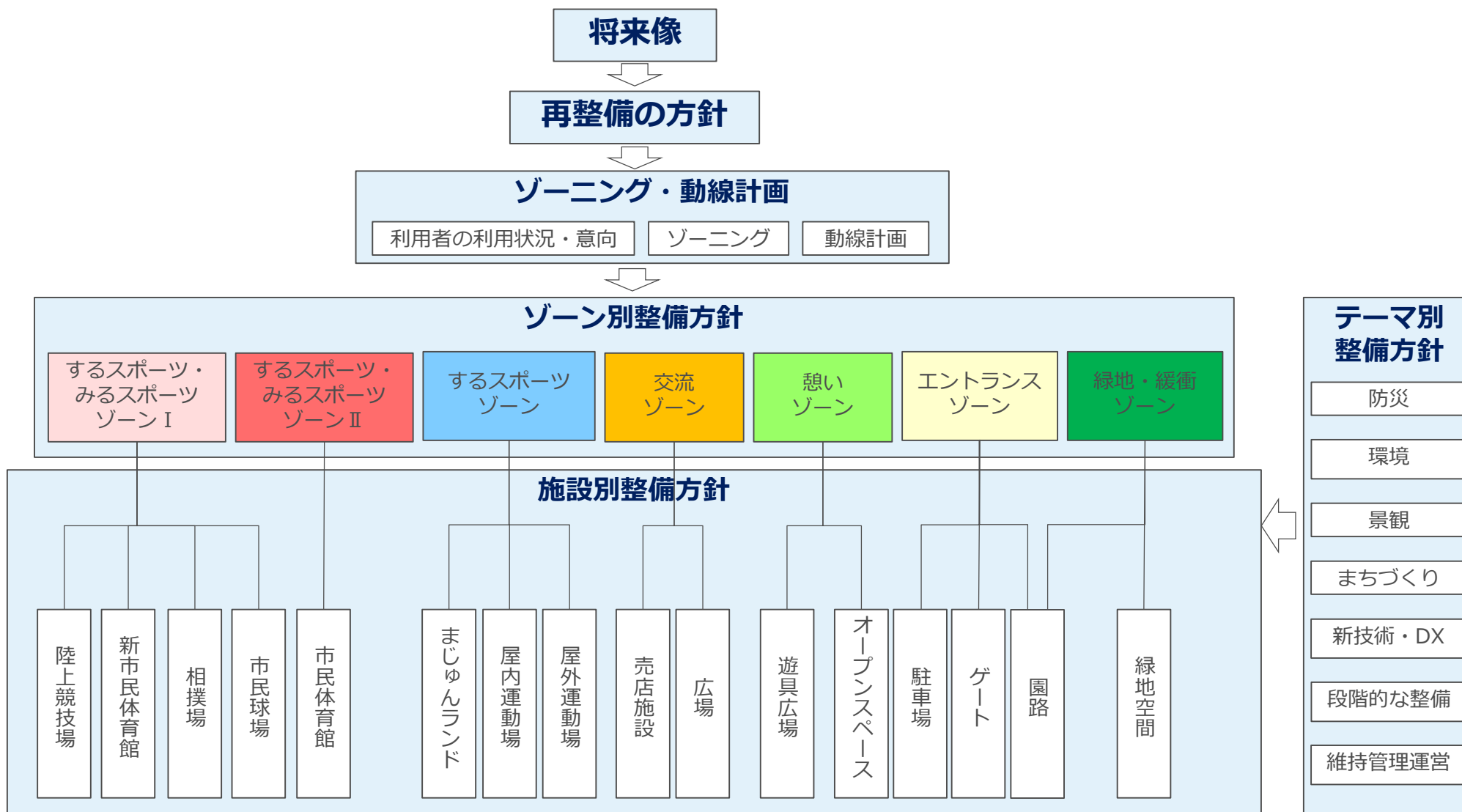
目指すべき将来像

スポーツ・健康づくりを通じた交流、学びと遊びを備えた賑わいを創出する新たな市民運動公園
—市民をはじめ、全ての利用者が自然に親しみ憩いと、運動を通じた人々の交流、賑わいと地域の活性化を創出する運動公園を目指す！—

再整備の方針

- ① まちなかにある立地や自然・地形を活かし、スポーツを中心に多様な利用に対応できる運動公園・施設の整備
- ② 誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園・施設の整備
- ③ 質の高いサービスを持続的に提供できる管理運営の推進
- ④ 運動公園を拠点にスポーツを通じた活力あるまちづくりの推進
- ⑤ 段階的な整備による着実な実施

- 公園内をゾーン分けし、全体の将来像と再整備の方針に基づき、ゾーン別及び施設別の方針を示します。



浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

5 再整備の方針【5-2 浦添運動公園の再整備の方針】



- ・ 将来像を実現するための再整備の方針にもとづき、運動公園の課題解決を図ります。

再整備の方針 1

まちなかにある立地や自然・地形を活かし、スポーツを中心 to 多様な利用に対応できる運動公園・施設の整備

利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備を推進

市民のニーズであるスポーツ・健康づくりの空間整備を基本とし、他市町民や観光客、障がい者のニーズや公園利用の現状等を鑑み、より公園利用の促進を図るため、公園利用者の目的・形態に応じた空間整備を推進する。

グリーンインフラとしての保全・利活用の推進

上位関連計画の取組みやみどりの拠点としての位置付け、環境、防災の観点から、まちなかの立地や特徴的な地形等を活かした、緑地並びに自然景観の維持・保全を推進する。

人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場の創出

新型コロナウイルス感染症の拡大とデジタル化の急速な進展等により、人々の生活様式は大きく変化・多様化する中、ニューノーマル社会への対応として、スポーツを核に住民・観光客・軍人・軍属等のつながりや交流を生み出す拠点づくりを行う。

利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保の検討

市民等や関係団体の公共交通のアクセス性や駐車スペースの不足に関するニーズ、イベント時の混雑状況等により、公園利用者の利便性の向上を図る整備や運用等を検討する。

再整備の方針 2

誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園・施設の整備

老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化の推進

公園の供用開始後、30年以上経過し、施設・設備の老朽化や陳腐化が見受けられ、市民等のニーズでも老朽化の対応が求められている。施設・設備の更新や機能の拡充・強化等による公園の魅力向上を図る取組みを推進する。

観るスポーツの楽しみ方の提供

上位関連計画のスポーツ成長産業化の展開への呼応や本市の新たな観光・交流拠点の形成を図るため、観るスポーツに対応した施設整備等を推進する。

便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上の検討

園内施設の利用状況や市民、観光客による売店不足のニーズなど、売店や飲食店の設置が求められている。公園の魅力、利便性の向上を図る便益施設の設置を検討する。

既存市民体育館の今後の運用の検討

新市民体育館の供用開始に伴う既存市民体育館の運用について、施設の老朽化や利用人数、園内の施設配置を鑑み、今後の方針・計画策定を検討する。

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

5 再整備の方針【5-2 浦添運動公園の再整備の方針】



- ・ 将来像を実現するための再整備の方針にもとづき、運動公園の課題解決を図ります。

再整備の方針 3

質の高いサービスを持続的に提供できる管理運営の推進

公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新を検討

限られた財源の中で、公園利用者の多様なニーズや利用目的、安全・安心な利用等に柔軟かつ適切に対応していくため、公園・施設・設備の適切で持続可能な維持管理・更新を検討する。

民間活力等による財源の効率化の推進

公園の付加価値（魅力創出による利用者増加に伴う収益確保）や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入など、財源の効率化を推進する。

収益確保による財政の負担軽減の推進

市民や観光客等の売店・飲食店のニーズ、公園利用者の低未利用地の活用、新施設の利用料金による収益の確保など、園内の収益性を考慮した取組みを実施し、財政の負担の軽減を図る。

再整備の方針 5

段階的な整備による着実な実施

新市民体育館整備に伴う影響範囲の再整備を短期に取組み、その他については長期を見据えた方向性を検討する。

再整備の方針 4

運動公園を拠点にスポーツを通じた活力あるまちづくりの推進

上位・関連計画や施策と連携した再整備計画の検討

昨今の社会情勢（少子高齢化、地球温暖化対策等）を鑑み、SDGsや脱炭素化に向けた施策や上位関連計画の方針等と整合・連携を図った再整備計画を策定する。

市民・地域住民・事業者・行政の共同・競争による公園づくりの推進

公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくりを推進するには、役割分担をしつつ、市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公益的な取組みを実施していく。

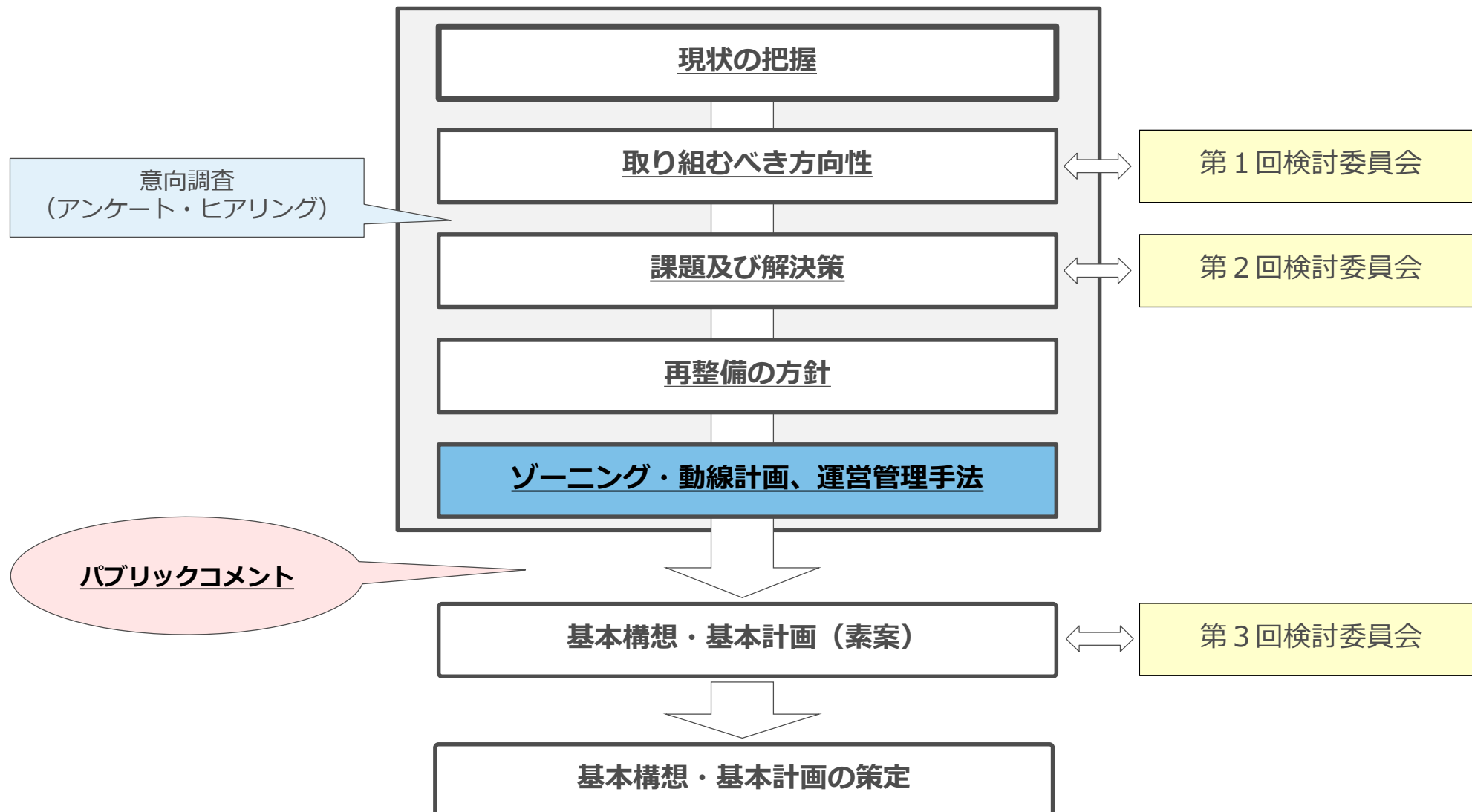
スポーツコンベンションの推進

スポーツコンベンションは、観光やスポーツ振興、青少年の健全育成、地域活性化等に大きく寄与するため、運動公園再整備に伴う、スポーツコンベンションを推進する。

プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致の推進

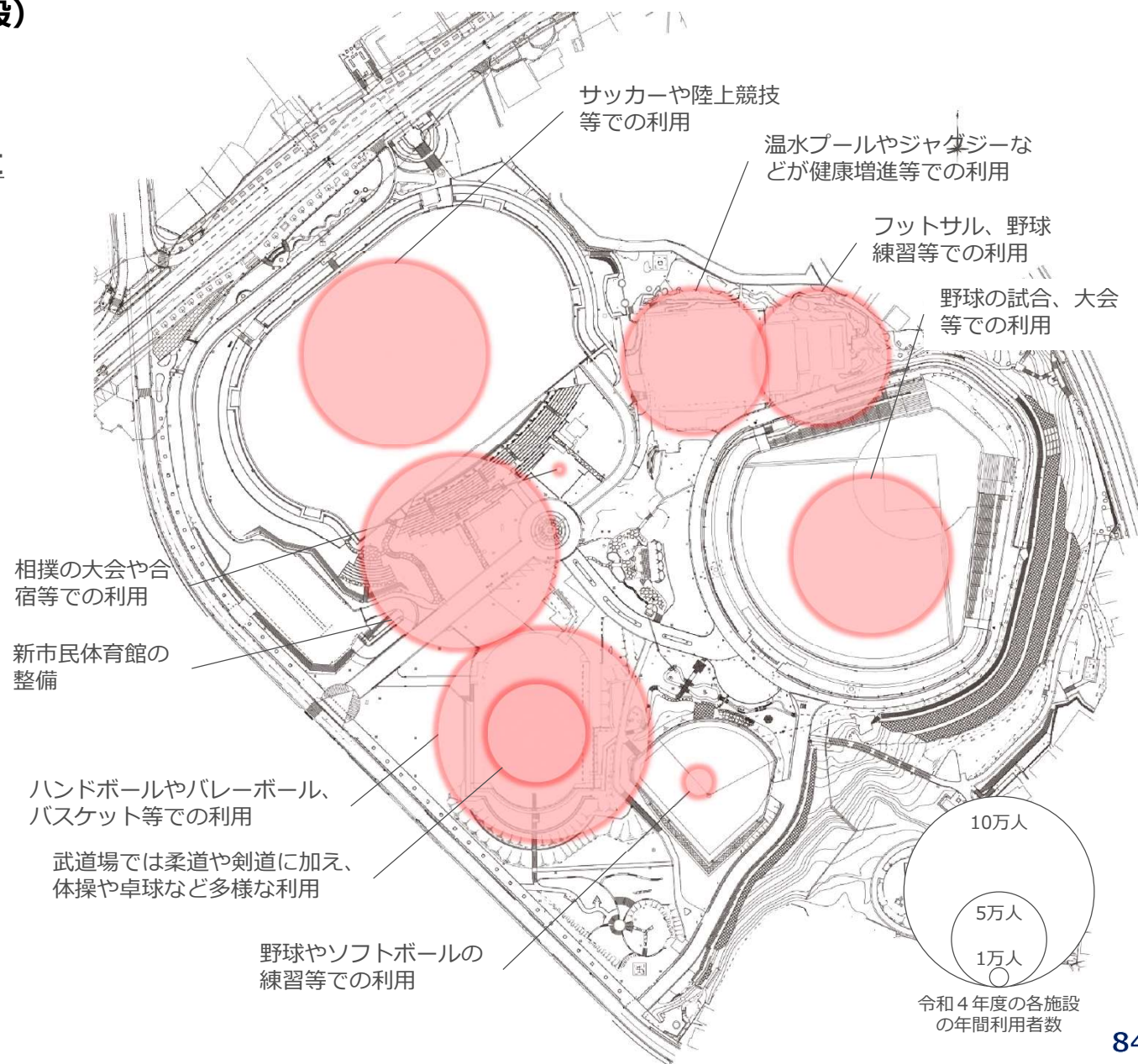
スポーツを通じた活力あるまちづくりの推進には、高いレベルのスポーツを観戦する機会やアスリートとの交流機会が一助となるため、プロスポーツに対応した環境整備や関係団体等と連携した誘致等の取組みを推進する。

- 公園内をゾーン分けし、全体の将来像と再整備の方針に基づき、ゾーン別及び施設別の方針を示します。
- 運動公園の今後の運営管理手法についての方針を示します。



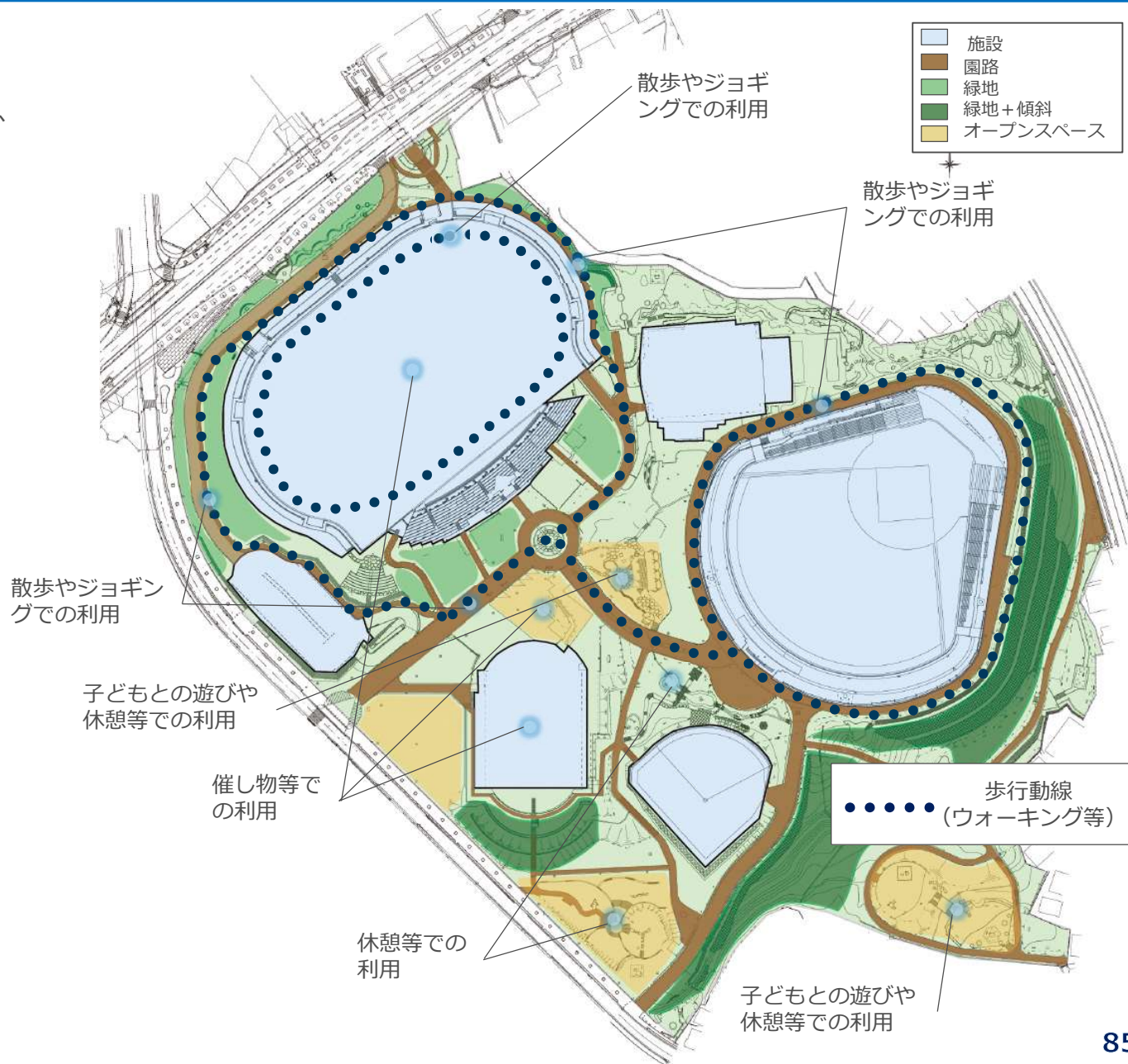
① するスポーツの利用状況（運動施設）

- 利用者・未利用者アンケート調査結果より、浦添市民利用者では「運動試合に参加した」の利用が最も多く、周辺市町村住民利用者でも3番目に多く、**運動施設をメインにした利用**がなされています。
- 野球で利用される市民球場を除き、他の運動施設は**多目的に利用**されています。



② するスポーツの利用状況 (園路、オープンスペース等)

- 利用者・未利用者アンケート調査結果より、「運動試合に参加した」以外では、「散歩」や「催し物に参加」「子どもと遊んだ」の利用が多いです。
- 散歩などの利用は陸上競技場内のトラック周辺や園路が利用されています。また、市民体育館や陸上競技場、オープンスペースを利用した催し物などが行われています。
- オープンスペースで子どもと遊んだり休憩での利用が見られるが、場所によって**利用が低い箇所**があります。



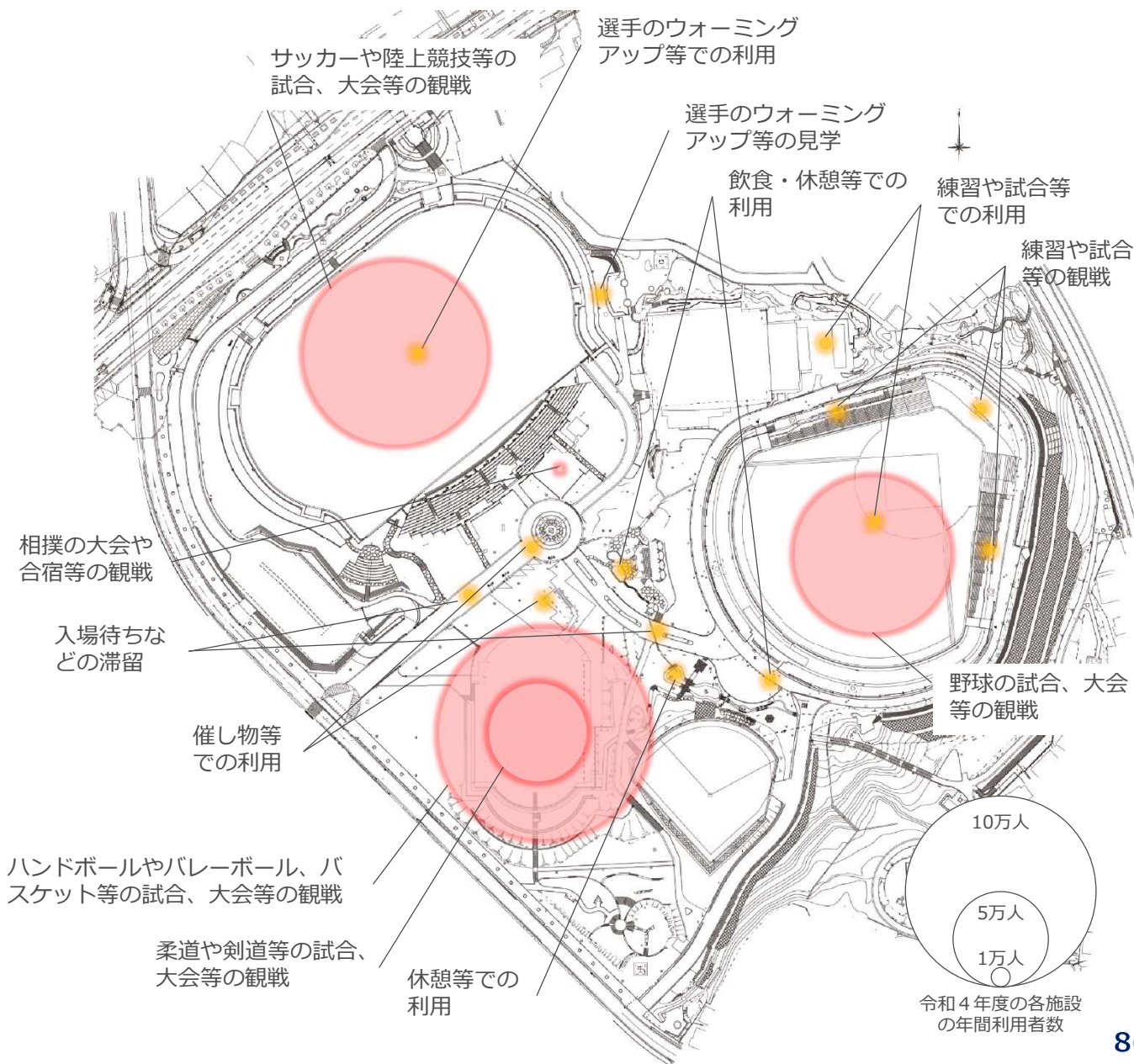
③ みるスポーツの利用状況

みるスポーツの利用状況（一般）

- 各運動施設で試合や大会が開催されており、家族の試合観戦などのみるスポーツの利用がされています。

みるスポーツの利用状況（観光）

- ヤクルトキャンプやてだこウォークの際には、県内外から多くの観光客が訪れ運動公園を利用しています。
- ヤクルトキャンプ時には、練習や試合会場となる市民球場以外に、園路での入場待ちの行列やオープンスペースでイベント、飲食などの利用があり、**運動施設とオープンスペース等の一体的に利用**されています。



浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画 【6-1 利用者の利用状況・意向】



④ 公園・施設利用者の需要予測

目標：H27年～R4年の平均利用者数
（令和4年度比）38万人増【達成予定年度 令和9年度】

施設全体の利用者数（実績）の状況

- 令和3年度までコロナ禍の影響により施設全体の利用者数は約32万人まで減少。
- 令和4年度の施設全体の利用者数は約50万人であり、令和3年度から約18万人（約6割）増加し回復傾向にあるが、令和5年度からの新市民体育館の整備工事により、施設アプローチや立体駐車場の地下部分の利用に制限が出ることから利用者数の減少が想定される。

令和5年度以降の施設全体の利用者数の想定

- 令和5年8月から令和6年6月まで立体駐車場の地下部分の利用制限や施設アプローチの制限により、高齢者の利用や地域団体のイベント等の開催の減少が見込まれることから、期間中の利用者の減少を想定する。
- 新市民体育館の供用開始予定である令和8年度は、陸上競技場と立体駐車場（一部）、園路（一部）で利用制限があるものの、新市民体育館の利用者数分が増加することを想定する。なお、新市民体育館の想定利用者数は既存市民体育館の利用者数を設定する。
- 令和9年度は、陸上競技場の再整備等が完了予定であり、利用制限が解除される。本年の想定利用者数は、利用者数の実績データをもとに、H27年～R4年の平均利用者数を設定する。

令和9年度の公園利用者数の想定

- 施設全体の想定年間利用者数は、H27年～R4年の平均利用者数約74万人に新市民体育館の想定利用者数の約14万人を加えて約88万人と設定する。
- 上記より、数値目標は令和9年度想定利用者数88万人－令和4年度利用者数50万人＝38万人

表 利用者数

| 施設名 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 備考 | |
|---------|-----------|---------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|---|
| 市民体育館 | 172,199 | 168,547 | 165,868 | 192,068 | 151,142 | 73,294 | 72,938 | 109,612 | 95,000 | 105,750 | 116,500 | 127,250 | 138,000 | 施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。 | |
| 武道場 | 60,795 | 81,592 | 67,597 | 81,541 | 57,524 | 38,214 | 30,826 | 50,879 | 44,000 | 47,750 | 51,500 | 55,250 | 59,000 | | |
| まじゅんらんど | 92,014 | 95,776 | 90,367 | 84,196 | 86,508 | 51,753 | 41,425 | 80,430 | 70,000 | 72,000 | 74,000 | 76,000 | 78,000 | | |
| 屋内運動場 | 74,052 | 75,431 | 76,166 | 83,058 | 74,463 | 43,894 | 37,014 | 68,580 | 59,000 | 61,000 | 63,000 | 65,000 | 67,000 | | |
| 屋外運動場 | 18,125 | 14,704 | 17,918 | 16,300 | 16,254 | 10,142 | 8,421 | 13,336 | 4,000 | 11,000 | 12,000 | 13,000 | 14,000 | 令和5年8月から令和6年5月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。 | |
| 市民球場 | 79,996 | 54,697 | 58,764 | 83,169 | 61,239 | 19,276 | 35,972 | 80,541 | 64,000 | 16,000 | 30,000 | 45,000 | 59,000 | 施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。 令和6年3月から令和6年12月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。令和7年1月以降は、夜間照明整備工事が終了し利用者の増加が見込まれる。 | |
| 相撲場 | 3,621 | 3,349 | 3,697 | 3,356 | 3,027 | 1,566 | 2,943 | 2,760 | 1,000 | 0 | 0 | 3,000 | 3,000 | 令和5年8月から令和8年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。 | |
| 陸上競技場 | 505,595 | 498,804 | 655,517 | 427,085 | 250,618 | 101,331 | 90,954 | 95,160 | 32,000 | 0 | 0 | 0 | 328,000 | 令和5年8月から令和9年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。 | |
| 新市民体育館 | | | | | | | | | | | | | 127,250 | 138,000 | 令和8年度供用開始予定により利用者数の増加が見込まれる。 |
| 利用者数 | 1,006,397 | 992,900 | 1,135,894 | 970,773 | 700,775 | 339,470 | 320,493 | 501,298 | 369,000 | 313,500 | 347,000 | 511,750 | 884,000 | | 【運動公園全体】アプローチの利用制限により、高齢者の利用が多いまじゅんらんどに至るアプローチ及び散歩、ジョギングなどで利用されている園路への影響が大きい。このため、公園及び施設の高齢者の利用が減少することが見込まれる。アンケート調査より市内の公園利用者で60歳代以上は27%であることから、アプローチの制限に2割程度の影響を受けると仮定する。 |

■ 一部期間利用不可：想定利用者数×利用できる月/12ヶ月
■ 利用不可



出典：浦添市資料より作成

① ゾーニングの考え方

利用状況等を踏まえて以下の7つのゾーンを設定

市民等の利用を中心しつつ、プロスポーツ等の興行にも対応できる「するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ」（新市民体育館、陸上競技場、市民球場）

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

市民等のスポーツ・運動の利用を中心とする「するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡ」（市民体育館）

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる生涯スポーツの推進やスポーツ交流に資するゾーン

するスポーツゾーン（屋外運動場、まじゅんらんど等）

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン

※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

交流ゾーン

オープンスペースを利用したイベントや各ゾーンと一体となった利用により賑わいや交流を生み出すゾーン

憩いゾーン

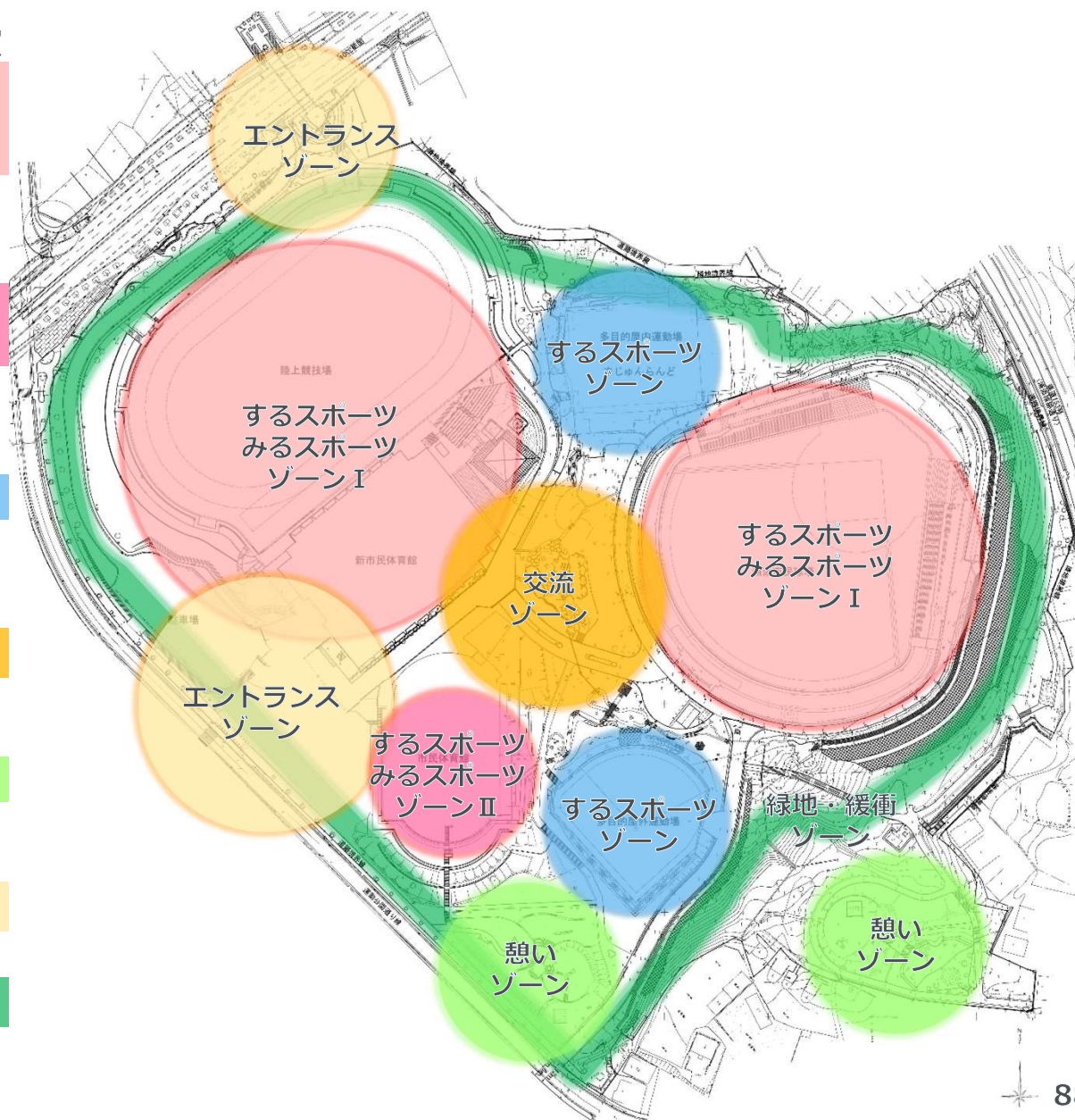
高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら休息・交流等ができるゾーン

エントランスゾーン

市内外からの利用者を迎え入れるゾーン

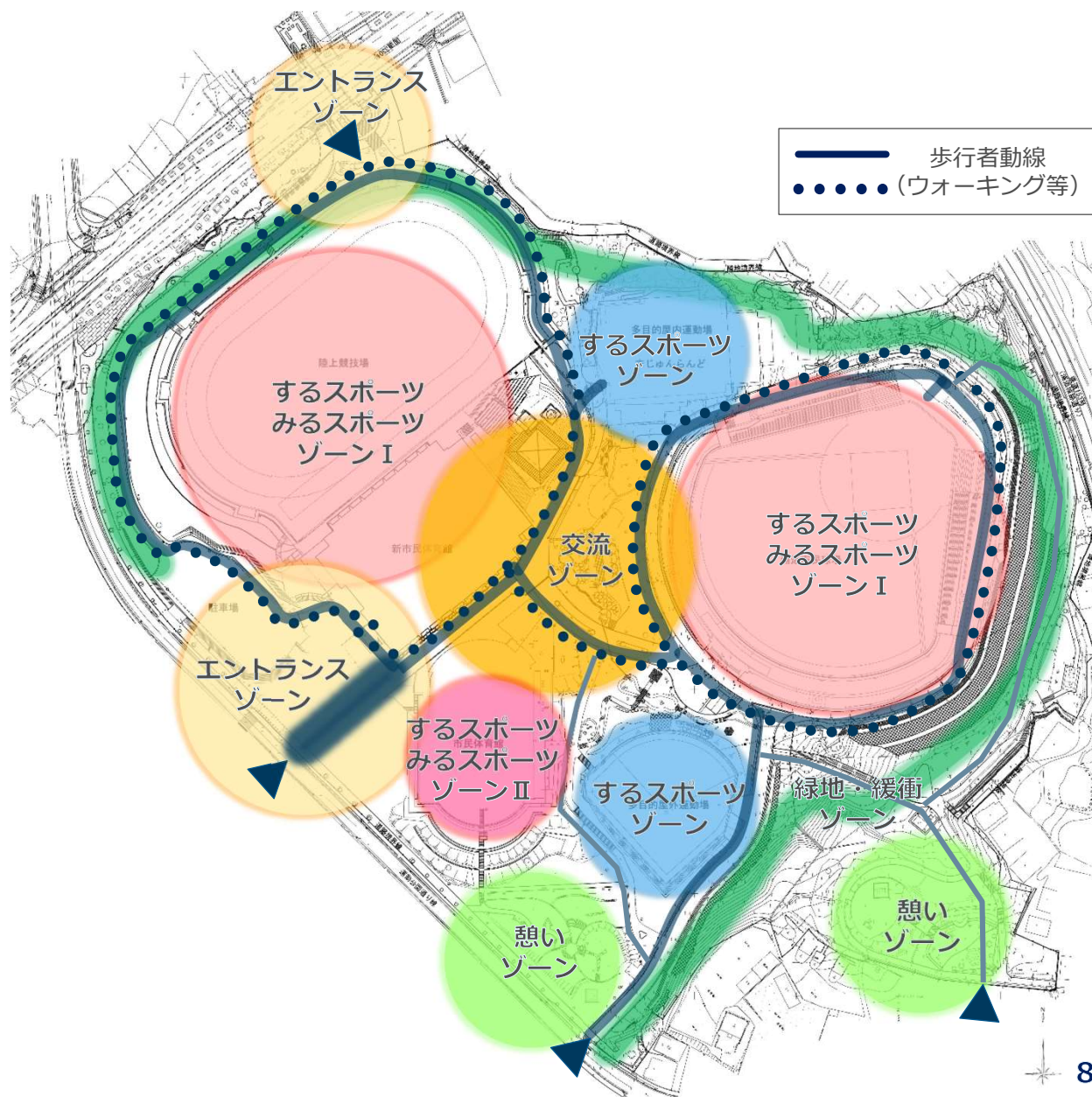
緑地・緩衝ゾーン

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながらスポーツ、健康づくり交流に資するとともに、周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担うゾーン



① 動線の考え方

- 歩行者動線は、各施設にスムーズに移動できるゆとりある空間を確保するとともに、車両動線と重なる部分は安全に歩行できるように配慮します。
- 陸上競技場や市民球場の周囲はウォーキングやランニングコースとして利用されており、自然を感じながら歩行・ランニングできる空間整備を行います。
- 高低差を活かし自然や景色の変化を感じることができる歩行空間を確保します。



①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの整備方針

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

ゾーン内の構成要素

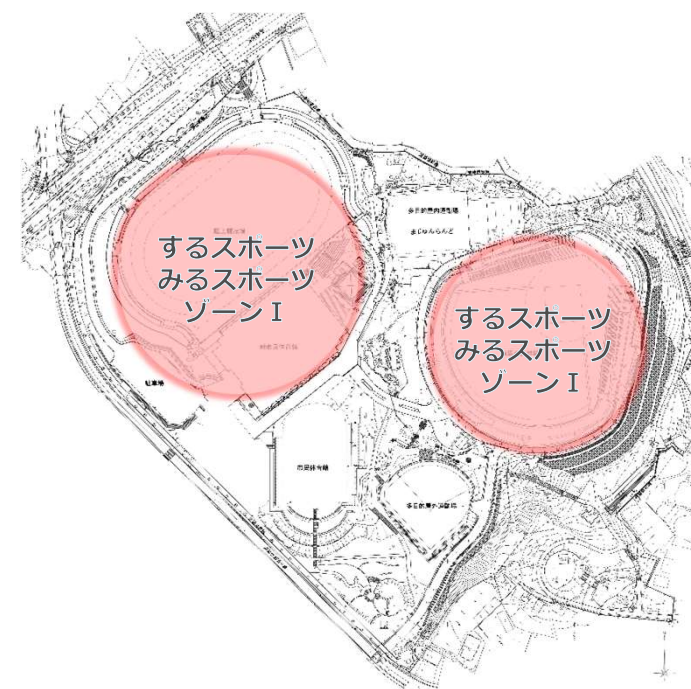
陸上競技場、新市民体育館、相撲場、市民球場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 陸上競技場：陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロスポーツ等の春季キャンプ、てだこまつり等
- ・ 新市民体育館：ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、フットサル、バトミントン、卓球、プロスポーツ等の試合・大会、eスポーツ、コンサート、MICE等
- ・ 相撲場：相撲
- ・ 市民球場：野球、ソフトボール、プロスポーツ等のキャンプ等

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場の整備」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「観るスポーツの楽しみ方の提供」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」「プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致」



ゾーン整備の方針

- ・ ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- ・ ゾーン内の緑地の適切な配置及び維持管理
- ・ 市民、県民、観光客、軍属等が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ・ 利用頻度が高く、人と人とのつながりやリアルな交流を創出させる運動施設や空間の魅力向上と機能強化
- ・ プロスポーツが実施できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備
- ・ 災害時にも市民等の安全・安心の確保の一助となる防災機能の確保
- ・ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- ・ 景観まちづくり計画やティードナファ緑の基本計画等を踏まえ、トップアスリートの競技等の観戦の魅力向上に資する良好な景観の形成
- ・ スポーツコンベンションの推進に寄与する運動施設整備



②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる生涯スポーツの推進やスポーツ交流に資するゾーン

ゾーン内の構成要素

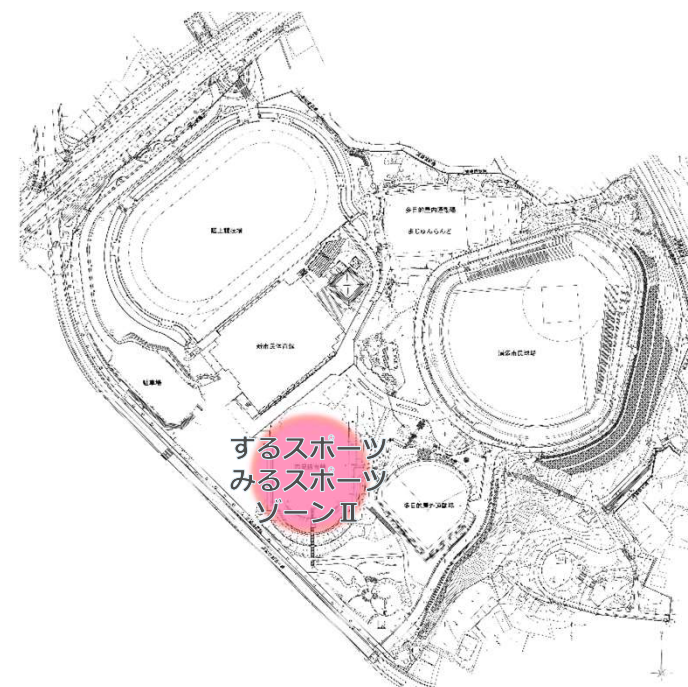
市民体育館、武道場、トレーニングルーム

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- 市民体育館：ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バトミントン、卓球、テニス、市民のスポーツ大会、冲展等
- 武道場：柔道、剣道、体操、卓球、ダンス等
- トレーニングルーム：マシンを使ったトレーニング、ストレッチ

ゾーン内の課題

- まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「観るスポーツの楽しみ方の提供」「既存市民体育館の今後の運用」
- 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」



ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備と施設の更新
- 市民、県民、観光客、軍属等が利用しやすい案内表示やICTを活用した柔軟な予約システム、情報発信の整備
- 市民、県民、軍属等がスポーツや健康づくり、交流できる施設・設備の更新と子どもの大会などのスポーツ観戦が楽しめる環境整備
- 既存市民体育館と新市民体育館は二つの拠点機能として相互補完により、多様な利用シーンに対応できるような施設・環境整備
- 災害時にも市民等の安全・安心の確保の一助となる防災機能の向上
- 利用者の利便性を高めると共に、スポーツ・健康づくり等による活力ある地域の賑わい創出につながる施設の運営・管理
- 新市民体育整備と調和を図る良好な景観の形成と緑地の配置
- 生涯スポーツの推進やスポーツ、レクリエーションの普及に寄与する運動・施設の更新

③するスポーツゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン
※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

ゾーン内の構成要素

まじゅんランド、多目的屋内運動場、多目的屋外運動場、スケートボード広場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

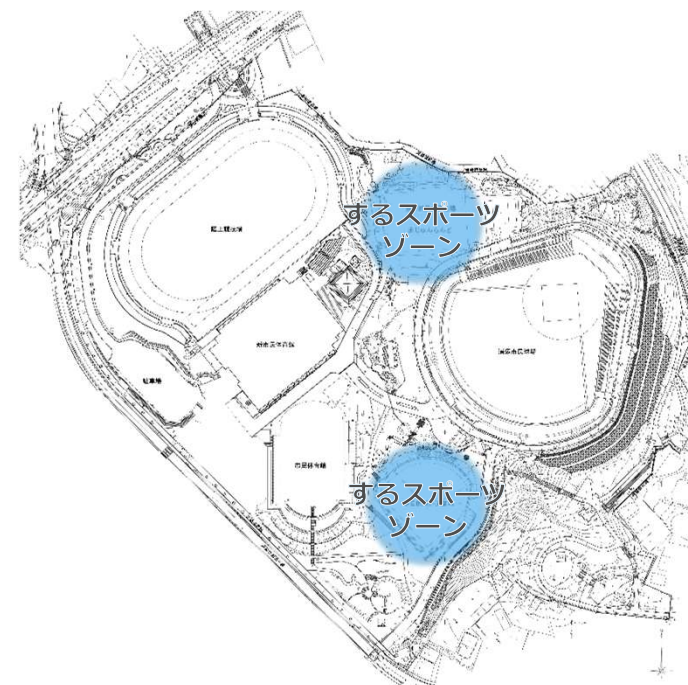
- まじゅんランド：水泳、マシンをつかったトレーニング、スタジオレッスン、カルチャースクール等
- 多目的屋内運動場：テニス、フットサル、ドッジボール、野球練習等、保育園や幼稚園の運動会、プロ野球キャンプ時の練習場
- 多目的屋外運動場：野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、プロ野球キャンプ時の練習場
- スケートボード広場：スケートボード、ローラースケート等

ゾーン内の課題

- まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」

ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備と施設の更新
- メインエントランスから離れるため、本ゾーン内の施設まで利用者に分かりやすい案内表示や、ICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- 市民や地域住民・団体等のするスポーツや健康づくり、イベントでの利用に応じた施設・設備の更新
- 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や心身機能の維持・回復、コミュニケーションの活性化につながるような施設の運営・管理
- 災害時にも市民等の安全・安心の確保の一助となる防災機能の向上
- 周辺の運動施設と環境に調和を図る良好な景観形成や緑地の維持・保全
- 子ども、高齢者、障がい者等のスポーツ参加や健康づくり、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの推進に資する施設・設備の更新



④交流ゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

オープンスペースを利用したイベントや各ゾーンと一体となった利用により賑わいや交流を生み出すゾーン

ゾーン内の構成要素

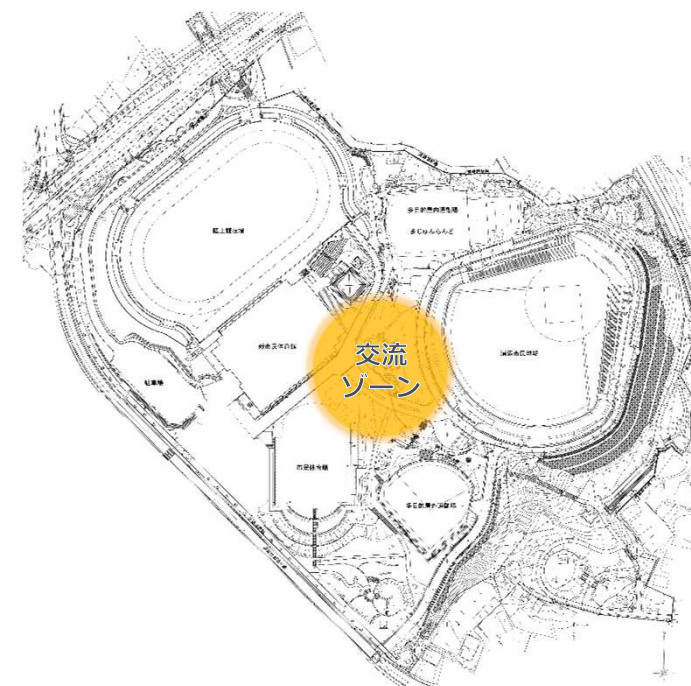
売店施設、広場、ビオトープ

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 売店施設：休憩、飲食（休日、イベント時）
- ・ 広場：イベント、自然とのふれあい、災害時の避難等
- ・ ビオトープ：水辺空間

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- ・ ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- ・ 自然を感じる水辺やみどりの配置と地域の賑わい創出につながるイベントの実施を可能にするオープンスペースの整備
- ・ 園内中央に位置するゾーンとして各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備
- ・ 災害時にも市民等の安全・安心な避難の手助けとなるよう防災機能の向上
- ・ 利用者の休憩や飲食利用等に対応した魅力ある便益施設の運営や環境の整備
- ・ 周辺の運動施設や自然、オープンスペースと調和を図る良好な景観の形成
- ・ スポーツイベント等と連携し、市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による魅力ある公園（オープンスペース）づくり



⑤ エントランスゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

市内外からの利用者を迎え入れるゾーン

ゾーン内の構成要素

正面入口、国道入口、園路、立体駐車場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

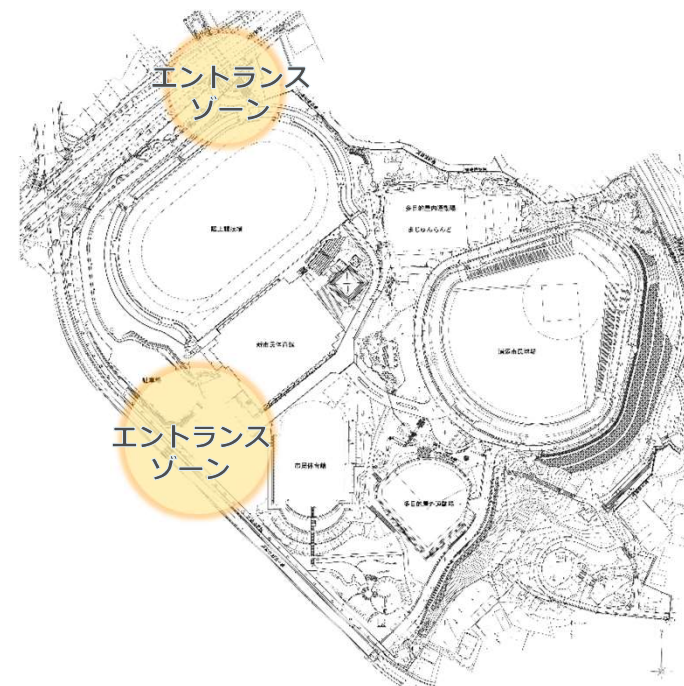
- ・ 正面入口：利用者の入退園、待合せ
- ・ 国道入口：利用者の入退園、国道330号からの車両の進入
- ・ 園路：各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動
- ・ 立体駐車場：利用者の駐車、各施設へのアクセス

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」

ゾーン整備の方針

- ・ 子どもや高齢者、障がい者をはじめ、様々な利用者を快適に迎え入れることが可能となる利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- ・ 市民、県民、観光客、軍属等のはじめて訪れる利用者にも、目的施設等に分かりやすく誘導する園路と案内表示の整備
- ・ 自家用車やレンタカー、観光バスなどのアクセスに対応した駐車スペースの適切な運用と増設
- ・ 市内外から多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保
- ・ 災害時の緊急車両の通行等の防災機能の確保
- ・ 市内外からの利用者を迎え入れるゲートとしてまちなみや周辺環境と調和を図る良好な景観の形成



⑥憩いゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら休息・交流等ができるゾーン

ゾーン内の構成要素

遊具広場、オープンスペース

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 遊具広場：子どもの遊び場、休憩、交流、散歩等
- ・ オープンスペース：休憩、交流、散歩等

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- ・ 子どもの遊びや地域住民の憩い・交流等で利用しやすいオープンスペースとしてユニバーサルデザインによる整備
- ・ 自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持・保全
- ・ 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進
- ・ 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすい案内表示等の整備
- ・ 眺望の良さや低未利用地の空間を活用した利用者の利便性を高める魅力ある便益施設の導入
- ・ 周辺のまちなみと調和を図る自然豊かな良好な景観形成
- ・ 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）づくり



⑦緑地・緩衝ゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながらスポーツ、健康づくり交流に資するとともに、周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担うゾーン

ゾーン内の構成要素

緑地空間

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 緑地空間：自然との触れ合い、住宅地との緩衝帯、景観形成
- ・ 園路：各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- ・ 高低差があっても移動しやすく自然を感じながらの散歩・ジョギング等の健康づくりや、休憩、交流等ができる木陰やベンチが適切に配置された園路及び緑地空間の形成
- ・ 運動施設や園内の利用者の快適性の向上に寄与し、維持管理上の支障とならない、良好な景観形成のための緑地の適正な配置及び維持・保全
- ・ 周辺の緑地と合せて、災害時にグリーンインフラとして防災機能を有する緑地の維持・保全
- ・ 周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担う緑地の適切な維持・保全
- ・ 市の緑の拠点として緑地空間の保全や、地域の緑の骨格を形成する丘陵と調和を図る良好な自然景観の形成
- ・ 自然豊かで魅力ある公園を持続するために市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）の維持・保全



⑧防災に関する整備方針

防災に関する課題

浦添市地域防災計画等と連携した公園・運動施設の防災機能の維持・向上

防災に関する整備方針

地域防災計画より運動公園は、災害時の広域避難場所に位置付けており、求められる当該機能の維持・向上と今後に予定される地域防災計画の見直しと連携した整備を図る。
災害時に防災機能を有するグリーンインフラ

⑨環境に関する整備方針

環境に関する課題

カーボンニュートラルの実現に資する、園内や周辺の住環境に配慮した環境整備の推進

環境に関する整備方針

園内の緑地や水辺空間の維持・保全と、運動施設等への再生可能エネルギーの導入など、園内外の環境に配慮した整備を図る。
生物多様性の保全等に貢献するグリーンインフラ

⑩景観に関する整備方針

景観に関する課題

- ・ 新市民体育館整備に伴う景観の変容への対応
- ・ 浦添の風土やみどりの骨格を形成する周辺の自然景観の維持・保全

景観に関する整備方針

丘陵地と周辺の緑地等の景観資源を活かしつつ、公園利用者が自然を感じながら、海への眺望を楽しむなど、ゆっくりと過ごすことができる良好な自然景観の維持・保全

⑪新技術・DXに関する整備方針

新技術・DXに関する課題

デジタル技術やデータの利活用など、新技術の導入による利用者サービスの向上

新技術・DXに関する整備方針

公園管理者の現場のニーズと新技術の開発者側のシーズがマッチングするものの検討や関係機関からの情報提供など、利用者サービスの向上に資する新技術の導入を図る。

⑫維持管理運営に関する整備方針

維持管理運営に関する課題

- ・ 公園・施設・設備の適切かつ持続可能な維持管理・更新
- ・ 公園の付加価値や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入

維持管理運営に関する整備方針

持続可能な公園・運動施設の適切な運営・管理手法の見直し
民間活力の導入による公園・運動施設の管理・運営の検討

⑬まちづくりに関する方針

まちづくりに関する課題

- ・ 公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくり
- ・ 市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）園づくり

まちづくりに関する方針

まちなかという立地特性を活かし、周辺の施設や住民、事業者、行政等が連携を図りながら、スポーツを通じて多様な交流・賑わいを創出させ、周辺にも波及させていくまちづくり

⑭段階的な整備の考え方

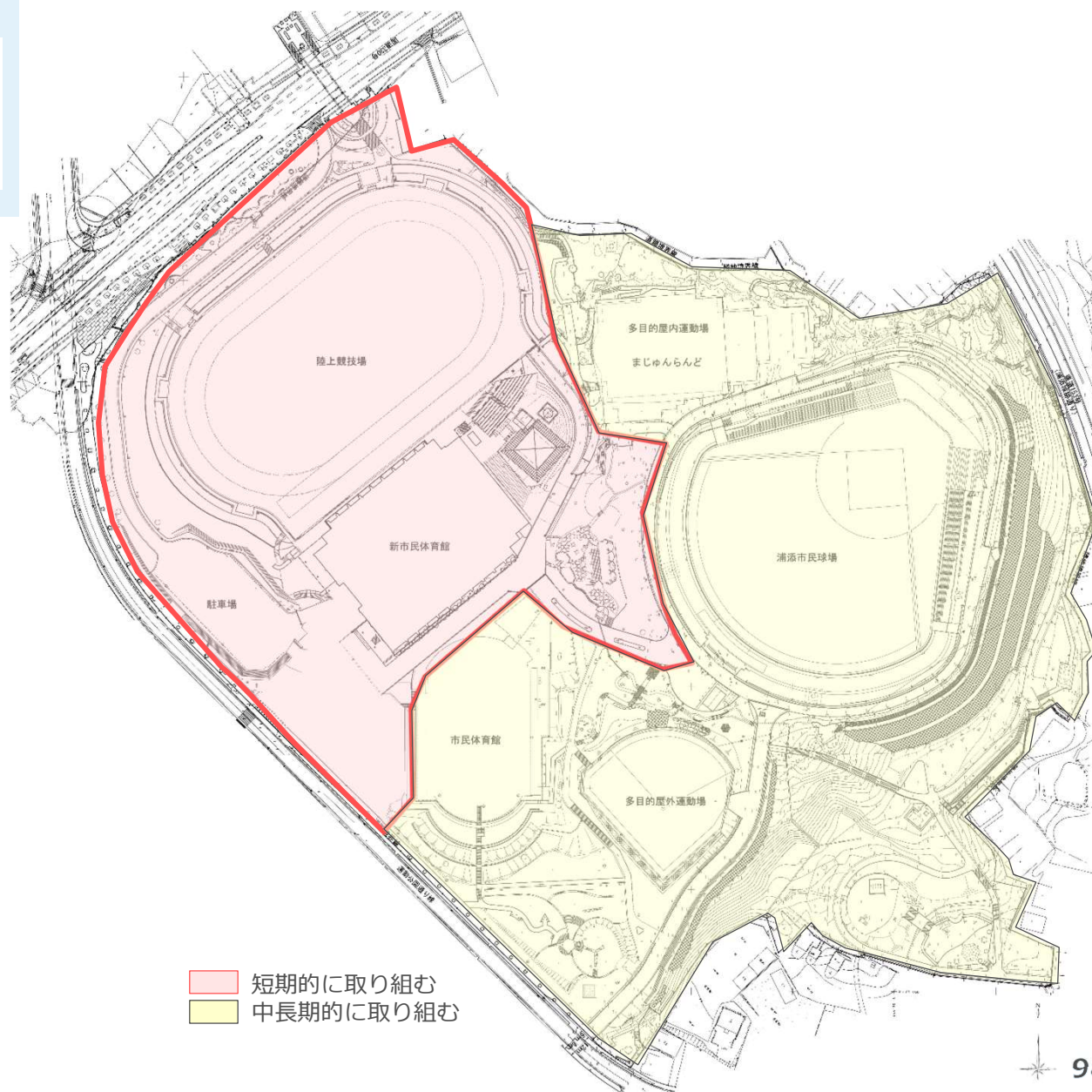
- ・ 先行する新市民体育館の整備に伴う影響範囲の再整備に短期的に取り組めます。
- ・ その他ゾーンについては、施設の老朽化等を踏まえながら中長期的に取り組めます。

短期的に取り組むゾーン

- ・ するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ（陸上競技場、新市民体育館、相撲場）
- ・ エントランスゾーン（駐車場、園路、ゲート）
- ・ 交流ゾーン（売店施設、広場）
- ・ 緑地・緩衝ゾーン（緑地空間）

中長期的に取り組む

- ・ するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ（市民球場）
- ・ するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡ（市民体育館）
- ・ するスポーツゾーン（まじゅんランド、屋内運動場、屋外運動場）
- ・ 憩いゾーン（遊具広場、オープンスペース）



浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-1陸上競技場【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

陸上競技場で想定される利用・使用形態

陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロ野球球団・プロサッカーチーム等の春季キャンプ、てだこまつり等



陸上競技場の課題

- ・ 老朽化・陳腐化した施設で、新市民体育館整備に伴い、メイン・サブスタンドの一部解体やフィールドトラックが工事車両により乱されるため、機能更新が必要。
- ・ サッカーの試合や大会を開催するにはフィールドが手狭で、かつ、プロサッカーチーム等の春季キャンプの誘致ができない状況。
- ・ 夜間照明の照度が不足しており、夜間の利用が困難となっている状況。
- ・ 1日中自由に利用できる形態のために施設管理が困難となっている。一方で、利用度は高く、利用者も使い勝手がいい形態であるため、施設管理と利用で相反する状況。
- ・ 倉庫や諸室は老朽化や手狭のため、一部使用されておらず、また備品も保管できない状況。
- ・ 各競技やてだこまつり等の興行後のフィールド内芝生の維持管理が困難な状況。
- ・ サブスタンドは植栽の根が張り、座りにくく、テント設営も困難で観戦がしづらい状況。
- ・ バリアフリーの整備が不十分な箇所があるなど、ユニバーサルデザインの導入が必要。
- ・ 再整備後の適切な維持管理・運営を行うため、施設利用料金の改定が必要。

他市町村の陸上競技場の状況

- ・ プロ野球球団に加え、プロサッカーチーム等も誘致するなど、スポーツコンベンションを推進。
- ・ プロスポーツの利用に合せた芝生等の維持管理。
- ・ メインスタンド一部に屋根の設置、車いす利用者の観戦スペースやエレベーター、トイレを設けるなど、ユニバーサルデザインを適用。
- ・ 競技場への入退場を一か所の出入口に集約し、事務室より管理。
- ・ 多目的な競技用の備品を適切に保管する倉庫。
- ・ サブスタンドの芝生化
- ・ 適切な維持管理等を見据えた施設利用料金

陸上競技場の整備方針

- ・ 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインを導入する。
- ・ サブスタンドの植栽の適切な再配置及び維持管理計画
- ・ 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ・ 人と人とのつながりやリアルな交流を創出させるフィールドトラックやスタンドの機能強化と魅力向上
- ・ 災害時にも市民等の安全・安心の確保の一助となる防災倉庫等の整備
- ・ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- ・ トップアスリートのキャンプ等の魅力向上に資すると共に、周辺景観と調和を図る良好な景観の形成
- ・ 多目的なスポーツの実施が可能で、プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-2新市民体育館【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

新市民体育館で想定される利用・使用形態

ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、フットサル、バトミントン、卓球、プロスポーツ等の試合・大会、eスポーツ、コンサート、MICE等



新市民体育館の課題

- ・ プロスポーツ興行やeスポーツなど「みるスポーツ」への対応
- ・ 「するスポーツ」への参画を促すためにも魅力ある施設整備
- ・ 障がい者スポーツの振興など障がい者利用の推進
- ・ 陸上競技場スタンドと新市民体育館との一体的整備による拠点機能の充実
- ・ 浦添市らしさを創出する施設整備
- ・ 地域防災計画等の位置づけを踏まえた災害対応等の充実
- ・ 軍人・軍属を含めた国際交流の推進
- ・ 地球環境への配慮の充実
- ・ コストセンターからプロフィットセンターへの転換の検討
- ・ 時間軸も意識した現市民体育館との機能・役割分担の検討

他市町村の体育館の状況

- ・ みることを重視した観客席の整備
- ・ 大型スクリーン・LEDディスプレイ等の整備検討
- ・ 照明機材の充実検討
- ・ 飲食ニーズへの対応の検討
- ・ 空調設備の設置検討
- ・ 多様な利用を可能とするアリーナ床面の検討
- ・ スポーツをはじめ興行・イベント等の多様なニーズに対応する施設・設備の検討
- ・ 器具庫・倉庫の充実検討
- ・ 利用料についての多様な対応の検討


陸上競技場の整備方針

- ・ 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインを導入する。
- ・ 二つの拠点機能の相互補完による多様な利用シーンへの対応
- ・ 競技スタンドと新市民体育館との一体化等による効果的・効率的な施設整備
- ・ 多様な屋内スポーツ・大会ニーズやMICE、コンサート等に対応できるアリーナ・観客席の整備
- ・ 市民をはじめ、観光客が快適かつ機能的にトップアスリートの競技等を観戦できる施設設備の整備
- ・ 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ・ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- ・ 多目的なスポーツの実施が可能で、プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備


浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-3相撲場【短期的な取組】

| | |
|---|---|
| <div><div>ゾーンの整備目標</div><div>市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン</div></div> |  |
| <div><div>相撲場で想定される利用・使用形態</div><div>相撲、大会等</div></div> | |
| <div><div>相撲場の課題</div><div><ul style="list-style-type: none">自由に出入りできる形態のために施設管理が困難。屋外施設のため、犬・猫の糞尿等の被害への対処。新市民体育館等と一体的な利活用。</div></div> | |
| <div><div>相撲場の整備方針</div><div><ul style="list-style-type: none">子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインを導入する。新市民体育館等の周辺運動施設と調和した良好な景観形成</div></div> | |

①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-4市民球場【中長期的な取組】

| | |
|--|--|
| <div>ゾーンの整備目標</div> <div>市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン</div> |  |
| <div>市民球場で想定される利用・使用形態</div> <div>野球、ソフトボール、プロスポーツ等のキャンプ等</div> | |
| <div>市民球場の課題</div> <div><ul style="list-style-type: none">経年劣化等により、スタンドや諸室、トイレ、水回り設備等の老朽化・陳腐化バリアフリーの整備が不十分な箇所があるなど、ユニバーサルデザインの導入が必要。</div> | |
| <div>市民球場の整備方針</div> <div><ul style="list-style-type: none">更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインを導入する。周辺運動施設と自然景観と調和を図った良好な景観の形成プロ野球キャンプ時の主要な場所で、かつ、スポーツコンベンションの核となる施設のため、それに相応しい施設の維持管理・更新長寿命化計画を踏まえつつ、スポーツ・観光交流拠点の形成に資するよう施設の維持管理・更新の早期化市民をはじめ、観光客が快適かつ機能的にプロ野球キャンプを観戦できる施設設備の維持管理・更新全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備</div> | |

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針 ②-1市民体育館【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる生涯スポーツの推進やスポーツ交流に資するゾーン

市民体育館で想定される利用・使用形態

ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バトミントン、卓球、テニス、市民のスポーツ大会、沖展等

市民体育館の課題

- ・施設の老朽化等に伴う雨漏り等への対処。
- ・空調（冷房）設備の未設置により、館内の気温や湿度が下がりにくいため、熱中症になる危険性が極めて高いなど、屋内スポーツの競技環境が整っていない。
- ・市民・団体の利用率が高いことや観客席数の不足等により、プロスポーツやイベント等の興行でこれ以上の利活用を図ることが困難。
- ・車いすでの館内へのアクセス性や専用の観客席・トイレの確保など、バリアフリー対策が不十分。
- ・既存市民体育館は主に市民等の利用、一方、新市民体育館は興行の利用など、役割・機能の分担を図るものの、新市民体育館の供用時に既存市民体育館は築39年が経過するため、老朽化・陳腐化の進行や空調（冷房）設備やバリアフリーへの対応など、市民等のニーズへの対応が難しくなる可能性がある。




市民体育館の整備方針

- ・主に市民等の競技スポーツや健康増進の利用に加えて、子ども等の試合や大会を観戦できる施設整備の維持管理・更新
- ・更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインを導入する。
- ・周辺運動施設と自然景観と調和を図った良好な景観の形成
- ・市民や団体等の利用者が利用しやすい柔軟な施設予約システム等の導入
- ・既存市民体育館と新市民体育館の役割・機能の分担を継続していくため、既存市民体育館の長寿命化計画を踏まえつつ、市民等のニーズや施設の構造・設備の老朽化等の現状の把握に努め、新市民体育館の利活用と照らし合わせながら、今後の運用や維持管理・更新を検討する。


浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

③するスポーツゾーンの整備方針 ③-1まじゅんランド【中長期的な取組】

| | |
|---|---|
| <p>ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン</p> |  |
| <p>まじゅんランドで想定される利用・使用形態 水泳、マシンをつかったトレーニング、スタジオレッスン、カルチャースクール等</p> | |
| <p>まじゅんランドの課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 経年劣化による設備の維持管理・更新・ 施設までのアクセスの分かりやすい案内 | |
| <p>まじゅんランドの整備方針</p> <ul style="list-style-type: none">・ 更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインを導入する。・ 市民や地域住民・団体等の健康づくりや心身機能の維持・回復、コミュニケーションの促進といった健康増進の運動を支える施設・設備の更新・ 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や地域内の交流創出につながる施設の運営・管理 | |


③するスポーツゾーンの施設整備 ③-2多目的屋内運動場【中長期的な取組】

| | |
|---|--|
| <p>ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン</p> |  |
| <p>多目的屋内運動場で想定される利用・使用形態 テニス、フットサル、ドッジボール、野球練習等、保育園や幼稚園の運動会、プロ野球キャンプ時の練習場</p> | |
| <p>多目的屋内運動場の課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 人工芝やネット等の内装材や窓等の外装材の経年劣化に対応した維持管理・更新・ 豪雨時には施設内の冠水が生じ、利用が困難になる。・ プロ野球キャンプ時に隣接する広場に仮設ブルペンを設置するために毎年度費用がかかる | |
| <p>多目的屋内運動場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民等のスポーツ参加や健康づくりと、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新・ 施設周辺にプロ野球キャンプ時に機能的に球団が利用できると共に、キャンプ観戦の魅力を向上させるブルペンの整備・ 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や地域内の交流創出につながる施設の運営・管理 | |


浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

③するスポーツゾーンの整備方針 ③-3多目的屋外運動場【中長期的な取組】

| | |
|---|---|
| <div>ゾーンの整備目標</div> <div>主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン</div> |  |
| <div>多目的屋外運動場で想定される利用・使用形態</div> <div>野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、プロ野球キャンプ時の練習場</div> | |
| <div>多目的屋外運動場の課題</div> <div><ul style="list-style-type: none">自由に出入りできる形態のために施設管理が困難。水はけの悪さや屋外施設のため、犬・猫の糞尿等の被害への対処。市民球場等と一体的な利活用。</div> | |
| <div>多目的屋外運動場の整備方針</div> <div><ul style="list-style-type: none">市民等のスポーツ参加や健康づくりなど、生涯スポーツを支える施設の維持管理と、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの推進にも寄与する施設・設備の更新</div> | |


③するスポーツゾーンの施設整備 ③-4スケートボード広場【中長期的な取組】

| | |
|--|--|
| <div><div>ゾーンの整備目標</div><div>主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン</div></div> |  |
| <div><div>スケートボード広場で想定される利用・使用形態</div><div>スケートボード、ローラースケート等</div></div> | |
| <div><div>スケートボード広場の課題</div><div><ul style="list-style-type: none">新市民体育館整備に伴い受電所が設置されるため、敷地が手狭となる。自由に出入りできる形態のために施設管理が困難なことや、夜間の無断使用など、周囲に人がいない時間帯での事故・ケガへの対応が困難である。</div></div> | |
| <div><div>スケートボード広場の整備方針</div><div><ul style="list-style-type: none">スケートボード広場として機能を維持できる敷地の確保・整備市民等の快適な利用と、スポーツコンベンションの推進にも寄与する施設・設備の更新</div></div> | |


浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

④交流ゾーンの整備方針 ④-1売店施設【短期的な取組】

| | |
|--|---|
| <p>ゾーンの整備目標 オープンスペースを利用したイベントや各ゾーンと一体となった利用により賑わいや交流を生み出すゾーン</p> |  |
| <p>売店施設で想定される利用・使用形態 休憩、飲食（休日、イベント時）</p> | |
| <p>売店施設の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の休憩や飲食利用などのニーズに対応した施設の運営 ・ トイレなどの経年劣化による設備等の維持管理・更新 | |
| <p>売店施設の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の休憩や飲食利用のニーズに対応した、魅力ある便益施設の運営や環境の整備 ・ 老朽化している設備の維持管理・更新 ・ 周辺の運動施設、自然、オープンスペースが調和した景観の形成 ・ 広場と一体でスポーツイベントなどと連携し賑わいを生み出す魅力ある公園づくりの取組 | |

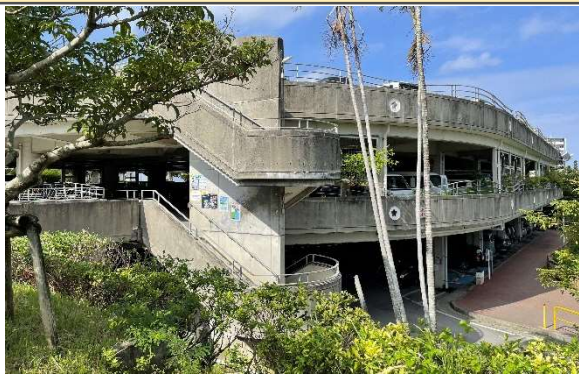
④交流ゾーンの整備方針 ④-2広場【短期的な取組】

| | |
|---|--|
| <p>ゾーンの整備目標 オープンスペースを利用したイベントや各ゾーンと一体となった利用により賑わいや交流を生み出すゾーン</p> |  |
| <p>広場で想定される利用・使用形態 イベント、自然とのふれあい、災害時の避難等</p> | |
| <p>広場の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新市民体育館の整備に伴うスペースの維持確保 ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと一体で賑わいを生み出す広場の効果的な活用 | |
| <p>広場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を感じる水辺やみどりと地域の賑わい創出につながるイベントの実施を可能にするオープンスペースの整備 ・ 各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備 ・ 災害時の利用にも柔軟に対応できる防災機能の確保 ・ 周辺の運動施設、自然、オープンスペースが調和した景観の形成 ・ 周辺の各ゾーンと一体となったスポーツイベントや地域イベントの実施により周辺にも波及する賑わい・魅力ある公園づくりの取組 ・ 売店施設と広場を一体利用した交流イベントなど魅力ある公園の運営 | |


浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

⑤エントランスゾーンの整備方針 ⑤-1立体駐車場【短期的な取組】

| | |
|---|---|
| ゾーンの整備目標 市内外からの利用者を迎え入れるゾーン |  |
| 立体駐車場で想定される利用・使用形態 利用者の駐車、各施設へのアクセス | |
| 立体駐車場の課題 <ul style="list-style-type: none">・ イベント時の駐車スペースの不足や大型バスなどの駐車スペースの確保・ 障がい者用の駐車スペースの確保・ 目的外利用による駐車への対応・ 新体育館整備に伴う連結部分の取り壊しによる園路までのアクセス | |
| 立体駐車場の整備方針 <ul style="list-style-type: none">・ はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる案内表示等の整備・ 自家用車やレンタカー、観光バスなどのアクセスに対応した駐車スペースの適切な運用と増設・ 車いす利用者等の障がい者用車両のスペース確保や、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備・ 有料化を含めた今後の適切な運用に対応した施設・設備の更新・ 周辺の自然環境や沿道のまちなみと調和した景観の形成 | |


⑤エントランスゾーンの整備方針 ⑤-2園路【短期的な取組】 ※ 園路は⑦緑地・緩衝ゾーンにも含まれる

| | |
|--|--|
| ゾーンの整備目標 市内外からの利用者を迎え入れるゾーン |  |
| 園路で想定される利用・使用形態 各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動 | |
| 園路の課題 <ul style="list-style-type: none">・ 新体育館整備に伴う正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失・ 地形による高低差や段差の解消、木陰の確保やベンチの配置、バリアフリーへの配慮・ 各施設までのアクセスが分かりやすい園路構成や案内表示 | |
| 園路の整備方針 <ul style="list-style-type: none">・ 観光客等のはじめて訪れる利用者であっても、目的施設まで分かりやすく誘導する園路構成と案内表示や園内放送等の整備・ 高低差の中でも高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備・ 散歩やジョギングをはじめ利用者が、車両が通行する区間においても安全・安心に歩行できる空間の確保・ 災害時の緊急車両の通行など防災機能の確保・ 散歩やジョギングをはじめ利用者が、心地よく感じる周囲の各運動施設や緑地などの自然環境と調和した景観の形成 | |

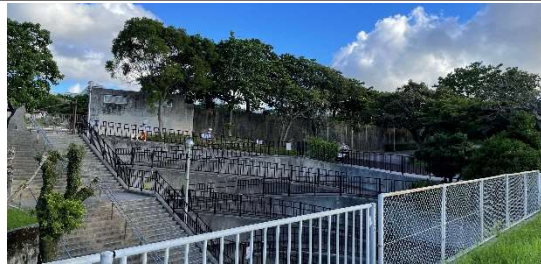
浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

⑤エントランスゾーンの整備方針 ⑤-3正面入口【短期的な取組】

| | |
|---|---|
| ゾーンの整備目標 市内外からの利用者を迎え入れるゾーン |  |
| 正面入口で想定される利用・使用形態 利用者の入退園、待合せ | |
| 正面入口の課題 <ul style="list-style-type: none"> 園路の付け替えによる正面入口の位置 新体育館整備に伴う正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失 | |
| 正面入口の整備方針 <ul style="list-style-type: none"> はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる入口の配置検討及び案内表示等の整備 市内外から公共交通等の多様な交通手段で訪れる利用者のアクセス性の確保 高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備 災害時の緊急車両の通行など防災機能の確保 市内外からの利用者を迎え入れる顔になる空間であり、まちなみと調和した景観の形成 | |


⑤エントランスゾーンの整備方針 ⑤-4国道入口【短期的な取組】

| | |
|--|--|
| ゾーンの整備目標 市内外からの利用者を迎え入れるゾーン |  |
| 国道入口で想定される利用・使用形態 利用者の入退園、国道330号からの車両の進入 | |
| 国道入口の課題 <ul style="list-style-type: none"> 車両と歩行者の安全性の確保 | |
| 国道入口の整備方針 <ul style="list-style-type: none"> はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる案内表示等の整備 市内外から公共交通等の多様な交通手段で訪れる利用者のアクセス性の確保 高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備 車両の出入りにも安全に利用者が歩行、散歩、ジョギング等ができる空間の整備 災害時の緊急車両の通行など防災機能の確保 沿道のまちなみや陸上競技場の再整備と調和した景観の形成 | |


浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

⑥憩いゾーンの整備方針 ⑥-1遊具広場【中長期的な取組】

| | |
|---|---|
| ゾーンの整備目標 高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら休息・交流等ができるゾーン |  |
| 遊具広場で想定される利用・使用形態 子どもの遊び場、休憩、交流、散歩等 | |
| 遊具広場の課題 <ul style="list-style-type: none">・ 平時とイベント時ともに、低未利用の空間・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと連携して賑わいを生み出す広場の効果的な活用 | |
| 遊具広場の整備方針 <ul style="list-style-type: none">・ 子どもの遊びや自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持管理・ 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進・ 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすいユニバーサルデザインや案内表示等の整備・ 海が見える眺望の良さや低未利用地の空間を活かしPark-PFIを活用した利用者の利便性を高める魅力ある便益施設の導入・ 周辺の住宅街等のまちなみと調和した自然豊かな景観形成・ 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり | |

⑥憩いゾーンの整備方針 ⑥-2オープンスペース【中長期的な取組】

| | |
|---|--|
| ゾーンの整備目標 高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら休息・交流等ができるゾーン |  |
| オープンスペースで想定される利用・使用形態 休憩、交流、散歩等 | |
| オープンスペースの課題 ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと連携して賑わいを生み出す広場の効果的な活用 | |
| オープンスペースの整備方針 ・ 子どもの遊びや自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持管理 ・ 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進 ・ 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすいユニバーサルデザインや案内表示等の整備 ・ 沿道からのアクセス性を活かしPark-PFIを活用した利用者の利便性を高める魅力ある便益施設の導入 ・ 沿道のまちなみと緑地空間の調和した自然豊かな景観形成 ・ 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり ・ 沿道にある特性を活かし周辺に波及する市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創によるオープンスペースを活用したまちづくり | |

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

⑦緑地・緩衝ゾーンの整備方針 ⑦-1緑地空間【短期・中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながらスポーツ、健康づくり交流に資するとともに、周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担うゾーン

緑地空間で想定される利用・使用形態

自然との触れ合い、住宅地との緩衝帯、景観形成

緑地空間の課題

- ・ グリーンインフラとしての緑地の保全・利活用
- ・ 運動施設や園内の利用及び管理への支障



緑地空間の整備方針

- ・ 自然を感じながら散歩やジョギングなどの健康づくりや、休憩、交流等ができる緑地空間の保全
- ・ 運動施設や園内の利用及び管理への支障のない樹木の適正な配置及び維持管理
- ・ 周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担う緑地の適切な維持管理
- ・ 市の緑の拠点として緑地空間の保全と地域の緑の骨格を形成する丘陵の自然景観の形成
- ・ 自然豊かで魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による緑地の維持管理
- ・ 防災機能を担うグリーンインフラとしての緑地の保全・利活用